

中央保育所の閉所について

【経過】

- ・令和6年11月、社会福祉法人小樽四ツ葉学園から運営する「中央保育所」について、閉所したい旨の申し出があった。
- ・保育士採用の見込みが立たず欠員が続き、新規入所を受けられないこと等から令和8年度末（令和9年3月末）をもって閉所する。なお、中央保育所側で保護者説明会を5月に実施済み。

【今後の動き】

・在園児童について

令和7年6月入所児童数

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
0	0	5	8	10	14	37

- ・令和8年度末をもって閉所することから、現在の5歳児、4歳児は中央保育所で卒園が可能。
- ・令和6年度から保育士不足により新規児童の受け入れをしていないことから、1歳児と0歳児については現在入所児童数0人。
- ・2歳児、3歳児は今後も保育を必要とする場合、転所をしなければならないことから、保護者に対する意向調査を施設側で実施のうえ、各手続きを勧めてもらう。（「保育（2号）」の場合は小樽市へ申込み。「教育（1号）＋預かり保育（新2号）」は入所を希望する施設へ直接申込み）なお、同法人が運営するあおぞら保育園において転所の受入枠を多めにとるとのこと。

※他園への協力要請などは中央保育所にて実施済み

・休日保育について

閉所に伴い「休日保育事業」（日曜、祝祭日の開園）の実施施設がなくなります。市内に休日保育事業が必要と考えるため、継続に向けた意向調査を実施します。

・中央保育所閉所後の跡利用について

市内中心部にあり利便性が高いことから教育・保育施設としての活用を検討したいと考えているため、他の施設に対し事前にアンケート調査を実施する。